

シモバシラ		<i>Collinsonia japonica</i> (Miq.) Harley	絶滅危惧 I 類
			シソ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。		写真(箕浦博之)
形態の特徴	茎は四角で直立して硬く、高さ40-70cmになる多年草。葉は有柄、対生、長楕円形～広披針形で先は尖る。花期は9-10月。枝の上部の葉腋に、長さ6-9cmで一方に花をつけた総状花序を出し、白色で小形の唇形花を多数つける。		
生態的特徴	山地の木陰に生える。		 
分布状況	日本固有の種。本州～九州、奄美(徳之島)、朝鮮、中国～東南アジアに広く分布する。県内では県南の西部に生育する。		
減少要因	本種の分布域は県南の西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。		
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項			
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)		

文責: 佐藤和良